

あつ、あぶない！

秘密保護法と共通番号

- ☆「特定秘密保護法案」は政府の情報を隠します！
- ☆共通番号制度は個人のプライバシーを裸にします！
- ☆国民主権の侵害を許しません！



「秘密保護法案と共通番号制度」を考える集い

とき : 2013年11月8日(金)

午後6時30分～午後9時

ところ: エルおおさか 7階 701

(地下鉄、京阪「天満橋駅」下車 徒歩5分)

講演 : 白石 孝さん(反住基ネット連絡会、プライバシーアクション)

資料代: 一般 1000円、学生など 500円

主催 : 「共通番号制度と秘密保護法案」を

考える集い実行委員会(06-7502-3636 草加)

とてもあぶない秘密保護法

安倍政権は「特定秘密保護法案」をこの臨時国会で成立させようとしています。そもそもこの法律が必要である理由も希薄であるうえに、法律は多くの人々に過度な影響を及ぼすものです。

「特定秘密」が防衛、外交、安全脅威活動の防止、テロ対策となっているが、それぞれはどのようにも拡大解釈できるものです。原発事故の情報ですらテロ対策の「特定秘密」にされると公開されなくなります。また「特定秘密」指定が違法な指定であっても、それすらわからなくなります。しかも公開させようとするのが罪に問われる恐れもあり、罰則が10年以下の懲役と異常に重いものです。

これらは憲法上の権利を侵害している。知る権利を侵しています。日本の主権は国民にあります。政府主権ではありません。求められるのはこのような政府に都合の悪いことを隠す法律ではなく、政府の情報公開なのです。



原発関連情報はテロ
対策で特定秘密指定
放射能漏れもヒミツ
アメリカとの密約
だって特定秘密指定
だれも特定秘密を
チェックできないの
だ

共通番号制度でプライバシーがあぶない
あなたの個人情報がインターネットに・・・
政府はあなたを監視します

各省庁の93項目にわたる個人情報を共通番号で国が管理する共通番号制度が2016年1月から始まります。93項目には家族状況や生活保護受給、失業、病歴など差別につながる情報も多く含まれています。2015年10月にこのための共通番号が住民票のあるすべての者に送られてきます。

政府の保持する情報の漏洩や個人のなりすましが横行するのは政府が個人情報を集中管理するアメリカや韓国の実態を見ても明らかです。インターネット社会では差別につながる情報個人情報が拡散されてしまいます。差別的情報が拡散したときには対処のしようもありません。行政の効率化よりプライバシーの保護が優先されます。国家が個人を一生追跡し、監視する制度の始まりなのです。